

仕事の具体的な内容

認知症の高齢者や、寝たきりの高齢者など、何らかの事情で日常生活を営むのに支障がある人に対して、心身の状況に応じた介護を行い、家族などを対象に介護指導を行う人。介護の仕事は、ケアチームとしてさまざまな職種の人やボランティアの人たちと協力しながら行っています。



職域

仕事は直接的介護、介護技術の指導、衛生状況など環境の整備、相談助言、等、他職種と連携しながら行っています。

その仕事に就くための心構えや学部選択、そして卒業後のコースについて

一言で『介護』と言っても様々な種類があります。例えば、ホームヘルパー・介護福祉士・社会福祉士・ケアマネジャー・等。中でも介護福祉士は現場で介護をする唯一の国家資格です。



仕事の面白さ・やりがい・喜び

介護によって喜んでいただいた事が自分への喜びになる。介護によってご家族の関係がよくなり喜んでいただける事がある。介護によって自分を成長させる事もある。

職業選択のきっかけ

私が高校生の時に両親が病に倒れ病院での生活が長く、まだまだ介護と言った言葉も解らず、看護師の方法等を見よう見まねで両親の介護をしていました。そして結婚して、私自身の両親を見送り、主人の祖父母が施設へ入った時、そこで出会った、元ケアマネジャーを通じて現在の職場へ就職することとなりました。



生徒のみなさんへ

全く初めての職種であったので、仕事をしながら福祉の知識があれば、もっとうまく説明ができるだろうと常に思っています。私もまだまだこれから勉強していかなければなりません。どのような仕事でもそうでしょうが、就職しても勉強はつきものでしょう。学生の間たくさん勉強し、さまざまな職種を見て自分にあった仕事を見つけてください。仕事がつらく感じる事もあるでしょうが、自分の気持ち一つで切り替えられる楽しみを見つけてください。意外と学生生活の中でも見つかるかもしれませんよ。

介護福祉士の資格を取得する方法

